

FATT

FULL AUTO TURBO TIMER

"BLITZ" - means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car.
Established in 1977 "BLITZ" has developed and evolved automotive.

BLITZ

取 扱 説 明 書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品は、誤配線でターボタイマー本体だけでなく、他の部品まで破壊する場合がありますので本説明書を良く読んだ上、間違いのない様に確実に配線して下さい。確実に配線するために、別売カプラーを販売しておりますのでご利用下さい。(価格1800円～)誤配線及び取り扱い上でのターボタイマー本体破損もしくはそれに伴う車両の破損に対しては、当社では一切責任を負いませんのでご了承下さいようお願い致します。

本文中のマーク説明

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことに至る切迫した危険状況を示します。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況、および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。
お願い	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容および利用できない機能や事項などの内容を示します。 (人身事故に関わらない特別な説明)

本製品を購入されたら最初に

- 本製品はターボチャージャー付き車のアフターアイドルリングを目的にエンジンを作動させる事や、バッテリー電圧を表示させる装置です。本製品を使用目的以外で使用しないで下さい。
- 本製品を使用する前に、本取り扱い説明書を必ず読んで注意を守って下さい。
- 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行なった場合に発生する不具合に関して弊社は責任を負いませんので、詳細はその製品に備え付けの取扱説明書などをお読み下さい。
- お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承下さい。
- この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

製品の特徴

- 本製品はターボチャージャー付き車をアフターアイドルリングさせる事により、高温になったエンジンオイルを冷却してターボチャージャーの焼き付きなどのトラブルを防ぎます。
 - 本製品はバッテリー電圧を表示する事により、バッテリー上がりなどのトラブルを予め確認できる機能を持っています。確認後は必ずバッテリーを点検して下さい。
 - タイマー作動時間は、0秒～9分50秒まで10秒単位でカウントダウンタイムが設定できます。
 - セーフティ回路を内蔵した安全設計です。(注1)
 - 配線は、誤配線のない様に取り付けの簡単な車種別専用ハーネス(別売)を設定。コネクタの差し替えだけで簡単・確実に取り付けの事が出来ます。
- 注1 セーフティ回路について(セーフティキルスイッチ)
- ターボタイマーによってエンジン作動中に、イグニッションキーを抜いて走行を開始するとステアリングがロックされて思わぬ事故を招く恐れがあります。セーフティ回路は万が一走行しようとしてパーキングブレーキを解除した瞬間、エンジンを停止させ事故を未然に防ぎます。
 - 車速センサーを標準装備した一部上級車種では、更に車速センサーへの結線により車両が動いたと同時にエンジンを停止させ事故を未然に防ぎます。

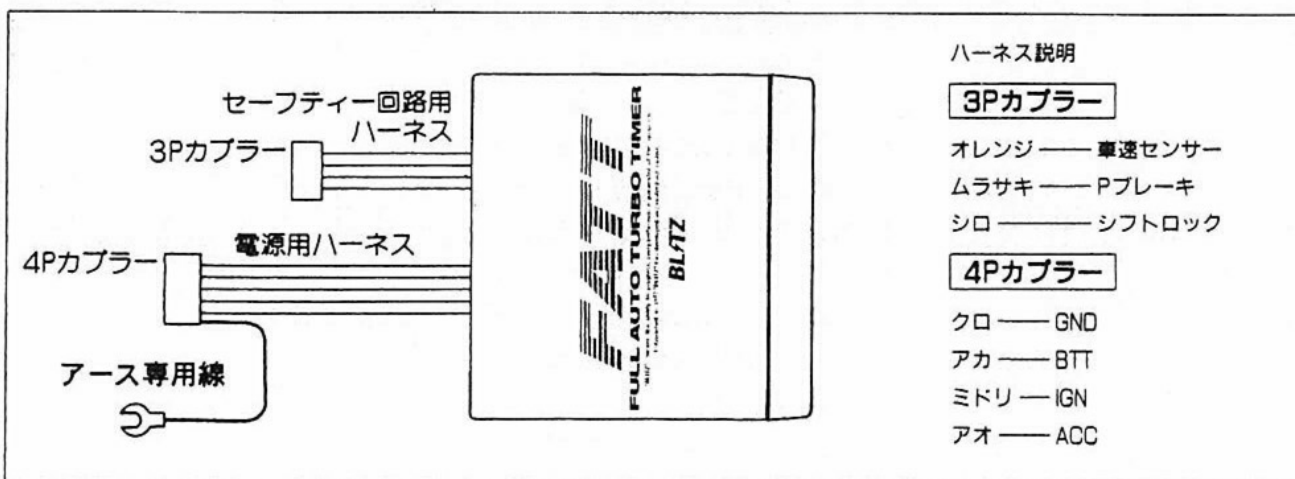
警告

タイマーによるアイドルリング中は、車両から離れないで下さい。

換気の悪い車庫などでのご使用はしないで下さい。

構成部品及び付属品リスト

☐ ターボタイマー本体	1個	☐ エレクトロタップ	2個
☐ 電源用ハーネス	1個	☐ タイラップバンド	2本
☐ セーフティ回路用ハーネス	1個	☐ 取り扱い説明書	1部
☐ 両面テープ	1個	☐ 保証書	1部
☐ マジックテープ	1個	☐ ケース	1部



お願い

はじめに確認して下さい。

この製品についてご説明には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって

正しくお使い下さい。

本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

この製品は別紙取扱説明書に記載のパーツリストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合がある場合には、販売店または弊社までご連絡下さい。

装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で故障の原因になる場合がありますので注意して下さい。

この製品を分解しないで下さい。この製品は精密機器ですので不必要な分解をしますと機能が損なわれる恐れがあります。機能が損なわれますとエンジンが破損する事があります。

この製品の取り付け作業は、バッテリーのマイナス端子を外して電源オフの状態にして下さい。電圧がかかった状態で取り付け作業を行ないますと、作業中の接触により感電したり、本製品や取り付けた車両の電装品の破損の原因となりますので注意して下さい。

ターボタイマーの設置場所は、ヒーターの出口や直射日光の当たるダッシュボード等温度の高くなる所を避けて設置して下さい。温度が高い所へ設置しますと通常の電子部品作動限度の温度を超える場合があります。その場合電子回路が作動不良を起こしたり、ケースが変形して操作できなくなる事があります。

- 電源回路が12Vと24Vの併用車および24V専用車には適合しません。
- セーフティー回路への配線をおすすめします。スピードセンサーへの配線とパーキングブレーキへの配線を怠ると、重大な事故の原因となる場合があります。
- セーフティー回路配線のアース結線は絶対にしないで下さい。破損および重大な事故の原因となる場合があります。
- 誤配線は絶対にしないで下さい。誤配線した場合、本製品の破損や取り付けた車両の火災につながりますので危険です。誤配線や結線不良により発生する、本製品の破損や取り付けた車両の破損について弊社は一切の責任を負いません

装着可能自動車と製品仕様

- 車 名：電源回路が12Vの自動車。
- 製品名称：F A T T（ブリッツフルオートターボタイマー）
- 製品番号：1 4 3 0 8
- 使用目的：ターボチャージャー付き自動車のアフターアイドルリング。
- 使用条件：車両が停止状態で、車両の回りに燃えやすい物がないとき。

作業前およびご使用の前に以下の事についてご確認下さい。

警 告

自動車の部品交換は本来設備の整った自動車整備で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客さまが作業すると怪我や火傷の可能性があって危険です

警 告

一酸化炭素中毒防止

エンジンをアイドルリングしたまま休憩や仮眠をすると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。必ずエンジンを停止して下さい。

排気ガスには有毒な成分が含まれています。閉めきった車庫や倉庫の中などでエンジンを動かすと一酸化炭素中毒の危険があります。必ずエンジンを停止して下さい

マフラーのテールパイプからは有毒な排気ガスが排出されます。停車または駐車中に車の後に人がいたり特に幼児やペットを置いてエンジンを動かし続けると一酸化炭素中毒の危険があります。必ずエンジンを停止して下さい。風向きにも注意して下さい。

警 告

触れると火傷

エキゾーストマニホールド、ラジエーター、エンジン本体は特に高温になっていて触ると大火傷の恐れがあります。

エンジンが動いている時あるいはエンジンを停止した後はエキゾーストマニホールド、ラジエーター、エンジン本体やマフラーは高温になっています。特に後端のテールパイプの部分は自動車の外に露出していて触れやすいので気をつけて下さい。触れると火傷の危険があります。

お子様には特に注意して下さい。またトランクから荷物を出し入れする時衣服がテールパイプに触れると焦げたり溶けたりする事があります。停車、駐車する際には周囲に気をつけて下さい。

警 告

ターボタイマーの取り付けは、車室内の電気配線の近くで作業をしますので電気配線に傷を付けないように作業をして下さい。電気配線に傷を付けますと、ショートの原因となり最悪の場合にはエンジンの破損や車両の破損が考えられます。

ラジエーター、エンジン本体や排気関係の部品は熱いので触ると火傷します。必ず冷えてから作業して下さい。手の火傷を防ぐために作業用の手袋を着用して下さい。

純正部品のボルトやナットが緩みにくい事がありますのでスプレー式などの浸透性潤滑油を使用し適正な工具を使用して無理のない作業を行なって下さい。特に手の怪我を防ぐために作業用の手袋を着用して下さい。

注 意

弊社のターボタイマーは耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、自動車の使用条件やターボタイマー周囲の状況が想定条件よりも悪いと耐久性が落ちる事があります。

自動車の排気部品は高温になります。枯草などの燃えやすい物の上にエンジンを動かしたまま、または停止直後に停車や駐車すると火災の危険があります。必ず自動車の下に燃えやすい物がないことを確認してから停車、駐車して下さい。

警 告

エキゾーストマニホールドなどにオイル、ブレーキ液や洗浄用溶剤をこぼすと火災の恐れもあります。

自動車の吸気関係や排気関係の部品は正しい取り扱いをしても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で部品の性能が劣化したり製品が腐食して穴が開く事があります。このような場合は速やかに販売店や整備会社に相談していただき、製品本来の性能が失われていたら弊社製品に交換して下さい。性能が劣化した製品を放置したり腐食を放置すると、エンジンの吸入混合気や排気ガスがエンジンルーム内や車体の下部などに漏れて火災の危険があると同時に、整備不良車運行で運転者が罰せられる事があります。

自動車の安全な整備はドライバーの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止をはかる上で必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期部品交換は、必ず実施して下さい。

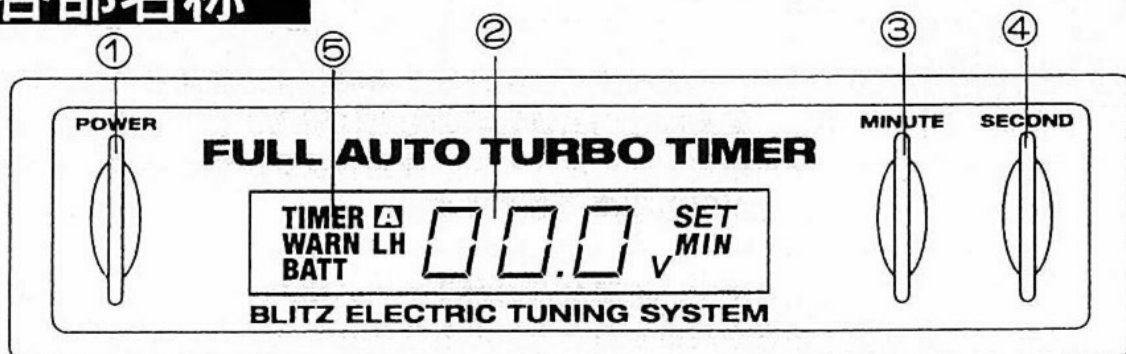
部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業して下さい。

【二柱式リフトをお勧めします】

やむおえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジットラック(馬、安全スタンド)併用して安全に作業して下さい。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対にお止め下さい。

自動車の部品の取り外しや取り付けの作業をする時は、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。バッテリーが接続されたまま作業を行なって作業中に工具が接触してショートしたりしますと、コンピューター等の電気部品が破壊されます。また、素手で作業していて触れたりしますと感電しますので危険です。

各部名称



①	②	③	⑤	④
POWERスイッチ	表示モード	MINスイッチ	動作	SECスイッチ
ワンタッチ	バッテリー表示	タイマー-AUTO/MANU切替えモード	1回押します。	A消灯でMANUモード
↓			2回押します。	A点灯でAUTOモード
ワンタッチ	タイマー-AUTO	タイマー-AUTO ミニマム値設定モード。	1回押します。	MINが点滅
↓		オートタイマー算出時間 HI/LO選択モード。	2回押します。	AUTOのミニマム値の設定。10秒毎のカウントアップリターン。
ワンタッチ	タイマー-MANU	タイマー-MANUモードの分単位設定。		HI/LOの切替。
ワンタッチ	ワーニングLOW	1V~10Vの設定する。1V毎のカウントアップリターン		MANUタイマーモードの秒単位設定。
ワンタッチ	ワーニングHI	1V~10Vの設定する。1V毎のカウントアップリターン		0.1V単位の設定する。0.1V毎のカウントアップリターン。
ワンタッチ	OFF	—	—	0.1V単位の設定する。0.1V毎のカウントアップリターン。
				—

作動説明

1. イグニッションON時

①初めて通電された状態。

●初期設定のPOWER ON状態になります。

初期設定

- ・AUTOモードのミニマム値10秒。
- ・AUTOモードの設定はHIGH/LOWのLOWモード。
- ・MANUモードのアフターアイドルリング時間1分。
- ・ワーニングLOW値12.0V。
- ・ワーニングHIGH値15.0V。

●約5秒後に動作開始します。

②すでに通電されていた場合。

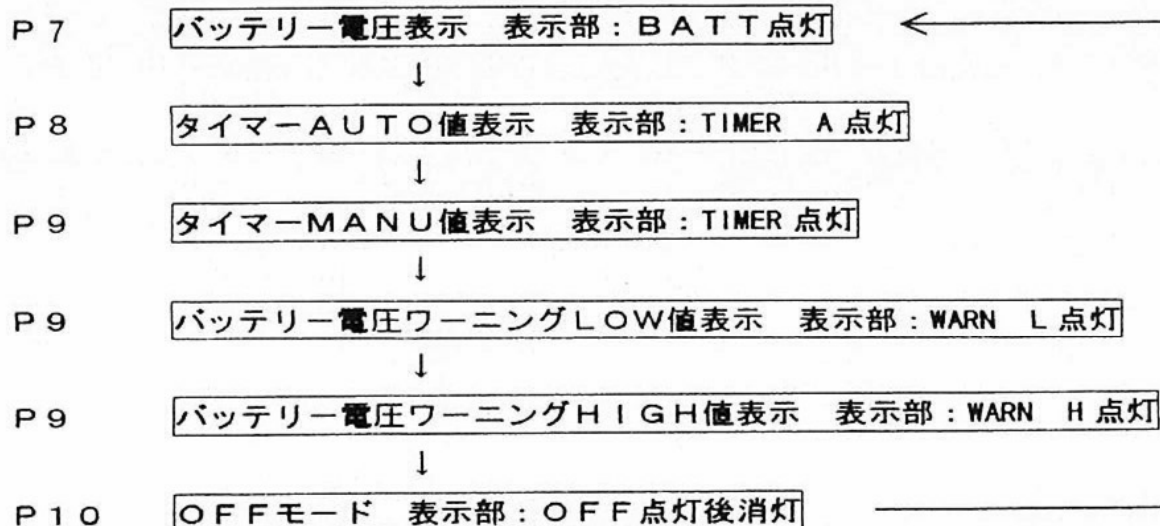
●前の状態を記憶していて、その状態に応じた動作をします。

記憶内容

- ・AUTO/MANUの設定。
- ・AUTOモード時のミニマム値。
- ・AUTOモードのHIGH/LOW設定。
- ・MANUモードのアフターアイドルリング時間。
- ・ワーニングのLOW及びHIGHの設定値。

2. POWERスイッチでのモード切替

POWERスイッチを押すと、ブザー音が鳴り表示モードが切り替わります。



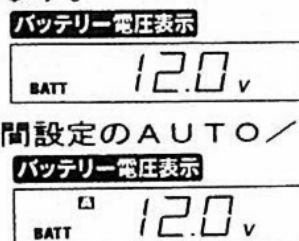
※ワーニング表示時はバックライト（赤）が点灯します。

3. バッテリー電圧表示モード

表示部：バッテリー電圧をリアルタイムに表示します。

MINUTEスイッチ（③）を押すとカウントダウン時間設定のAUTO/MANUモードが選択できます。

SECスイッチを押しても何も操作できません。



4. タイマーAUTO値表示モード（表示部左上にTIMER Aが点灯）

表示部：カウント時間のAUTO設定時を表示します。

基本パターン

MINUTEスイッチ（③）を押します。

AUTOタイマーのミニマム値設定モード



AUTOタイマーのHIGH/LOWの選択モード



カウント時間のAUTO設定時を表示します。



- ・AUTOタイマーのミニマム値を設定します。

MINUTEスイッチ（③）を押すとMINが点滅しAUTOタイマーのミニマム値の設定ができます。

（MINが点滅中にSECスイッチ（④）で秒数を設定して下さい。

設定範囲 0秒～50秒の10秒単位での設定が可能です。）

設定秒数を入力してその状態にしておけば、“ピー”というブザー音と共に設定が終了になります。

設定時間を変更する場合も上記手順にて変更して下さい。

- ・AUTOタイマーのHIGH/LOWのモードを選択します。

MINUTEスイッチ（③）を押すとMINが点滅します。そこで更に

MINUTEスイッチ（③）を押すと表示部にH（HIGHモード）が表示されHIGHモードの設定になります。

SECスイッチ（④）を押すとL（LOWモード）に設定ができます。

SECスイッチを押す毎にHIGH/LOWの切替ができます。

HIGH/LOWの設定を決めてその状態にしておけば、“ピー”というブザー音と共に設定が終了になります。

《AUTOタイマー HIGH/LOW機能とは》

アフターアイドルリング時間算出方法

電源ラインに含まれるオルタネーターパルスはエンジン回転数にある程度比例するのでその変化によって時間を算出します。

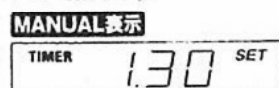
HIGH/LOWは車種によってオルタネーターパルスのバラツキに対応する為に2モードの選択を可能にしています。

算出基準点としては、通電されて約3秒後からオルタネーターパルスのミニマム値を検出し常に更新し続けます。

算出基準点をLOWモードは上記ミニマム値の約3.3倍（エンジン回転で約2000～3000）、HIGHモードは約2.1倍（エンジン回転約1500～2200）で設定してあります。よって算出基準点がHIGHモードの方が低く設定されている為、LOWモードよりHIGHモードの方がカウントが多くなり、アフターアイドルリングが長く設定されます。

5. タイマーMANU値表示モード（表示部左上に TIMER が点灯）

表示部：カウント時間のMANU設定時間を表示します。



タイマーMANUモード時間を設定します。

MINUTEスイッチ（③）を押すと分単位の設定になります。

（設定範囲 0分～9分の1分単位での設定が可能です。）

SECスイッチ（④）を押すと秒単位の設定になります。

（設定範囲 0秒～50秒の10秒単位での設定が可能です。）

設定時間を変更する場合も上記手順にて変更して下さい。

6. バッテリー電圧ワーニングLOW値表示モード

（表示部左上に WARN L が点灯）

表示部：バッテリー電圧ワーニングLOWモード値を表示します。



ワーニングLOWモード値を設定します。

MINUTEスイッチ（③）を押すと毎に1V～10Vの位が1V単位でカウントアップし、ワーニングOFF（表示部 — — —）、0、1、2…～15Vを繰り返します。

SECスイッチ（④）を押すと毎に0.1Vの位が0.1V単位でカウントアップし、0.0V～0.9Vを繰り返します。

ワーニングモードを機能させない場合は表示部 — — —と表示します。

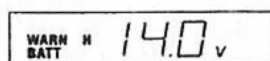
設定が終了したら、POWERスイッチにて別モードにして終了です。

設定値を変更する場合も上記手順にて変更して下さい。

7. バッテリー電圧ワーニングHIGH値表示モード

（表示部左上に WARN H が点灯）

表示部：バッテリー電圧ワーニングHIGHモード値を表示します。



ワーニングHIGHモード値を設定します。

MINUTEスイッチ（③）を押すと毎に1V～10Vの位が1V単位でカウントアップし、ワーニングOFF（表示部 — — —）、0、1、2…～15Vを繰り返します。

SECスイッチ（④）を押すと毎に0.1Vの位が0.1V単位でカウントアップし、0.0V～0.9Vを繰り返します。

ワーニングモードを機能させない場合は表示部 — — —と表示します。

設定が終了したら、POWERスイッチにて別モードにして終了です。

設定値を変更する場合も上記手順にて変更して下さい。

8. OFFモード

OFFを表示します。

3秒後に消灯します。イグニッションOFFになってもタイマー作動しません。

カウントダウン

- ・OFFモード以外の時に、イグニッションOFFされると、その時のモード設定時間でカウントダウンを行います。
- ・カウントダウンが始まると、今までバッテリー電圧表示であっても、カウントダウン時間表示に切り替わり、1秒毎に鳴動と、赤のバックライトが点滅します。

ワーニング

- ・カウントダウン中とOFFモード以外は、電圧が設定した値の範囲からはずれると、ブザーが“ピピッ”と鳴って表示部バックライトが赤に変わります。
- ・通電されてから約5秒間は、ワーニング動作はしません。
- ・ワーニングLOWとHIGHは独立に動作する。従って、どちらか一方がOFFに設定されていても、残りの一方の条件が満たされた時は、ワーニング動作を行う。

その他

- ・オルタネーターパルスを検出できない車が予想されます。
- ・一部車両の車速パルスに対応できないものがあります。

上記2点に関しては販売店及び弊社にお問い合わせください。

安全

- ①サイドブレーキが引かれていないとカウントダウン動作に入りません。またカウントダウン動作中にサイドブレーキが解除されると、カウントダウン動作を停止します。
 - ②車速パルス信号が入っているときはカウントダウン動作に入りません。またカウントダウン中に車速パルスが入ると、カウントダウン動作を停止します。
- ※一部の車両に車速信号を配線できないものがあります。(イグニッションOFF時に車速パルスが変化するのでタイマー作動を中止してしまう為)車速信号線を配線しなくてもタイマー作動は出来ます。

組付作業手順

警告

作業中の怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

ご使用の前に……を十分理解した上で実施して下さい。

作業が終了しましたら、本取扱説明書貼必ずお客さまに返却して下さい。

文中の純正品またはノーマル……とは自動車メーカーの標準装着品の意味です。

結線およびアースは確実にこなして下さい。アースの結線場所は、樹脂や塗装面を避けて金属面を選んで下さい。アース不良になりますと、ターボタイマーの作動不良や製品の破損の原因となります。

純正品と弊社製品の作業手順が異なる場合があります。その場合は、本書に記載された作業手順を良く読んで、理解してから作業して下さい。

最低限必要な工具			
☐ スパナセット	1組	☐ マイナスドライバー	1個
☐ ソケットレンチセット	1組	☐ プラスドライバー	1個
☐ プライヤー	1個	☐ 作業用手袋	
☐ モンキースパナ	1個	☐ ウェス	

取り付けについての注意

1. マイコンプリセット・オートチルトステアリング装着車について。

マイコンプリセット・オートチルトステアリング装着車に本製品を取り付けた場合、イグニッションキーを抜いても、ステアリングホイールはチルトアップしませんのでご注意ください。

2. オートライトコントロール装着車について。

オートライトコントロール車に、本製品を取り付けた場合ライトスイッチをAUTOの位置でターボタイマーを作動させると、タイマー終了後もライトが点灯状態になることがありますのでご注意ください。

例：マークII、チェイサー、クレスト、ソアラ、セドリック、グロリア、シーマ等

3. エアコン作動について

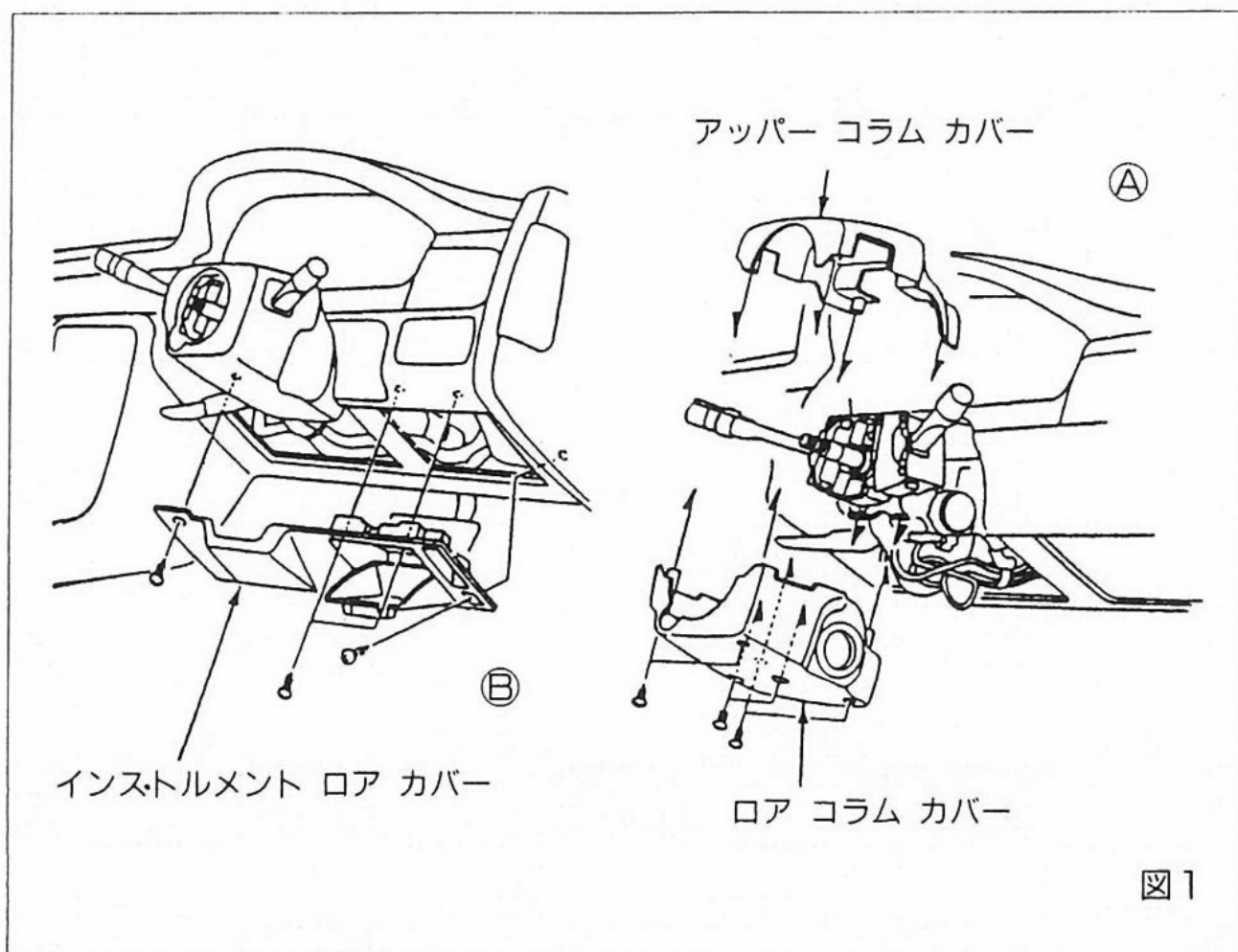
車種によってエアコン作動時に非常に大きな電流が流れ、ターボタイマーが作動している場合には本体を破損してしまうことがあります。タイマー作動中にはエアコンのスイッチをOFFにして下さい。

例：軽自動車、62年以降、ファミリア、シャレード等

タイマー取り付け方法

1. キースイッチコネクターの位置

図1を参照してキースイッチコネクターを見つけて下さい。



① ロアコラムカバーの裏側(ニッサン、ホンダ、ダイハツ、スズキ)

② インストルメントロアカバーの裏側(トヨタ、ニッサン、マツダ、三菱、スバル)

①、②の場所から純正のスターターカプラーを見つけて別売、車種別専用ハーネスキットを利用して、ターボタイマーを取り付けて下さい。

- ①1.で見つけた純正スターターカプラーを抜き、その間に車種別専用ハーネスを接続します。
- ②車種別専用ハーネスと電源ハーネスを3Pコネクターで接続します。
- ③電源ハーネスの黒線(⊖)を、車両の金属部に確実にアースします。
- ④③で取り付けした電源ハーネスの黒線(⊖)とは別の場所にアース専用線を接続します。接続場所は、塗装面を避けて金属部のメッキ等が施してある場所を選んで下さい。
- ⑤ターボタイマー本体と電源ハーネスを4Pコネクターで接続します。
- ⑥以上で電源ハーネス取り付けは終了です。
- ⑦セーフティー回路取り付け方法は14ページを参照して下さい。

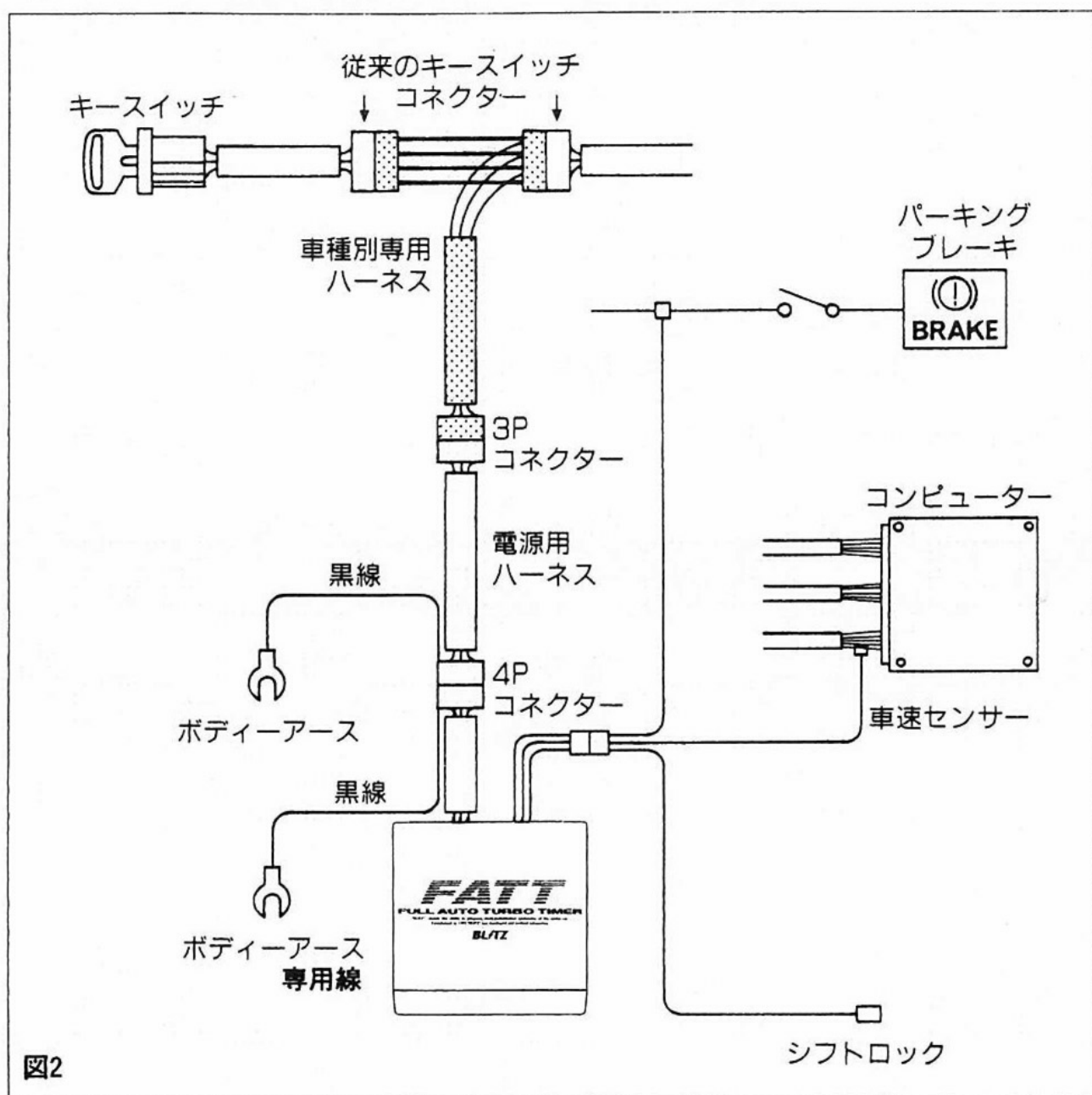


図2

※④は必ず守って下さい。

セーフティー回路の取り付け方法

1. パーキングブレーキへの配線

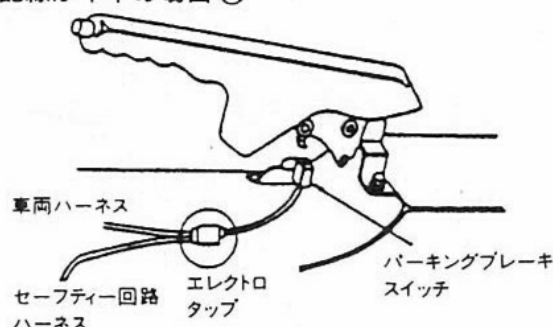
① パーキングブレーキの配線が1本の場合。付属のセーフティー回路用ハーネスのムラサキ線をパーキングスイッチの配線に接続します

② パーキングブレーキの配線が2本以上の場合。

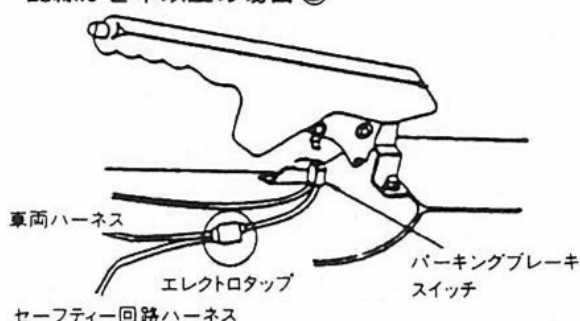
① キースイッチをONの位置にします。
(エンジンは始動させない)

② パーキングブレーキを引いているとき0V、パーキングブレーキを解除しているとき12Vになる配線を探して下さい。線が確認できましたらその線に付属のセーフティー回路用ハーネスのムラサキ線を接続して下さい

配線が1本の場合①



配線が2本以上の場合②



注 意

パーキングブレーキへの配線をせずにカプラーより出ている線をボディアースした場合は、ターボタイマーは作動致しますが、セーフティ機能が作動しなくなる為、パーキングブレーキへの配線をお勧め致します。尚どちらとも結線して頂かないとターボタイマーは作動いたしません。

2. 車速センサーの配線

■ 車速信号の取り出し方は、車両のEFIコンピューターから車速信号を取り出して、セーフティー回路用ハーネスと接続します。(EFIコンピューターの車速の信号は後ページの信号位置図を参照して下さい)

■ 信号位置は■部となります。(コンピューターの、接続されているカプラーのロックを上にした状態で車両ハーネス側から見た位置です)

注 意

車速センサーへの配線は必ずしなければいけないというわけではありません。車速センサーへ配線しないときは、カプラーより出ている線をしっかりと絶縁して下さい。

3. シフトロック機能への配線 (ニッサン)

1988年6月以降の新型車および新車のオートマチック車で、キーインターロック付きシフトロック装着車にターボタイマーを取り付けると、キーロック機能が作動し、作動中にイグニッションキーが抜けなくなります。その時は別売のシフトロック解除アダプターをご使用下さい。

注 意

シフトロックへの配線は必ずしなければいけないというわけではありません。シフトロックへ配線しないときは、カプラーより出ている線をしっかりと絶縁して下さい。

パーキングブレーキ、車速センサー、シフトロックへの配線は必ずしなければいけないというわけではありません。どれか一つの配線を行なうだけでも安全装置としての機能を果たします。

以上で全ての取り付けは終了です。

4. 確認 製品取り付け後に確認して下さい。

- 各部品はしっかりと固定されているか確認して下さい。長時間走行したときに部品等が外れますと、運転に支障をきたしたり本体の作動不良の原因となり危険です。
- 配線を間違えていないか確認して下さい。また、配線が確実に接続されているか確認して下さい。配線に不具合がありますと、本体の作動不良の原因となります。最悪の場合は、エンジン破損の原因となります。
- 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり配線ショートを起こしたりしますと本体の作動不良の原因となります。最悪の場合は、エンジン破損の原因となります。

作動確認

- ①エンジンを始動させ、タイマーのPOWERスイッチをONにします。
- ②MIN、SECボタンで作動時間を設定します。
- ③イグニッションキーをOFFにします。7セグLEDがカウントダウンして、タイムアップするとエンジン停止をして、ターボタイマーの電源が切れることを確認して下さい。
- ④セーフティー回路のパーキングブレーキの作動テストは①～③までを行ない、作動中にサイドブレーキを解除した時点で、エンジンが停止することを確認して下さい。
- ⑤セーフティー回路の車速信号の作動テストは①～③までを行ない、ギヤーをローに入れて車をゆっくり前進させた時点で、エンジンが停止することを確認して下さい。

注 意

ターボタイマー作動確認の時は必ずニュートラルかパーキングの位置にして、フットブレーキを踏んだ状態で行なって下さい。また、周囲に人がいないことを確かめてから行なって下さい。

故障と思う前に

故障と判断する前に下記の点をもう一度確認して下さい。

- ①配線ミス、カプラーの差し込みは確実か？ ②アース線(黒線)は確実にボディアースしているか？ 特にセーフティー回路の配線が接続されていないと、作動致しませんのでP14からのセーフティー回路取付方法を再度確認して下さい。
- ③エレクトロタップは確実に導線をかんでいるか？ ④操作方法是正しいか？